

式辞

早春の明るい日差しを受けて、緑が丘の木々にもふっくらとした新芽が膨らみはじめ、生命の息吹と春の予感を感じます。

本日ここに、PTA役員をはじめ多くの保護者の皆様のご参列を得て、令和元年度鳥取県立鳥取中央育英高等学校卒業証書授与式を挙行出来まことは、卒業生はもとより、本校教職員一同誠に光栄に存ずるところであります。また、本日は、新型コロナウイルス対策の為、通常とは違う式となりましたことを、ご了承いただきたく存じますが、本校教職員の卒業生を想う祝意は、いささかも変わることがないことをご理解いただきたく思います。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。お子様方は今ここに蛍雪の功なり、力強く新たな世界へ踏み出される日を迎えられました。高校時代は人生において誰にとっても疾風怒濤の時代です。保護者の皆様方には或いは、はらはらする思いもあったのではないでしょうか。そのご苦労がここに実り、この日を迎えられましたことに、心からの敬意とお祝いの気持ちを表したく存じます。

さて、めでたく本校を巣立っていく一四五名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

皆さんは、本校創立百十周年という大きな節目の年である平成二十九年四月、希望を胸に膨らませて本校の校門をくぐりました。以来「克己」の校訓の下、日常の勉学や部活動、並びに生徒会活動を中心に、かけがえのない青春を充実させるべく、研鑽の日々を積み重ね、本日、晴れて卒業の日を迎えたのであります。そして、皆さんが過ごした高校時代は、平成の終わりと令和の始まりという新旧の時代が交差する大きな世の中の節目の時でもありました。皆さんは、あるときは切磋琢磨し、あるときは時を忘れて没頭し、友と語り、涙し、友情を育んで来られました。その一つ一つの経験は、かけがえのない青春の良き思い出として、いつまでも皆さんの心の中に生き続けることと思います。

皆さんはこの三年間、自らの生き方・あり方を模索し、目標を定め、その目標に向かって心身を錬磨し、栄えある卒業証書を手にされました。改めて心からの賛辞を贈ります。

皆さんが無事本校での学業を終えられたのは、

勿論、皆さん一人ひとりの精進努力の賜物ではありませんが、同時に日夜を問わず、温かい愛情を持って励まし支えて来られました、ご家族や先生方、さらには本校に、ご支援を頂いております多くの方々のお陰でもあります。どうかこの点にも思いをいたし、報恩・感謝の気持ちを忘れることなく、一層の精進を積み重ねるよう期待しています。

これからの新しい世界にわくわくとする一方、世の中の変化の激しさ、先が見通せない時代でもあり、これからの道のりは決して平坦なものではないことを覚悟しておく必要があります。皆さんの未来が輝かしいものになるためには、社会の激動や不安に対処できる心構えと努力が必要です。益々深刻になる少子高齢化、好景気といいつつもその実感のない景気状況、地震、台風など予測もつかない天災など、多くの突然に発生する問題を抱えつつ、社会の仕組みや変化は益々複雑になってきています。皆さんはやがてどのような場所においても解決を迫られる問題、予想もしていなかった想定外の困難な問題に直面することになると思っています。

多くの情報を元にして必要なものを選択し、判断を下し、行動しなければなりません。その場で

正しく適切な判断を下すためには、判断のための経験や材料や知識を可能な限り身につけていかなければなりません。すなわち、「生涯にわたって学び続ける」気持ちと態度を常に持つことが必要であります。また、楽な方向ばかりを向くのではなく、社会の様々な歪みや精神的な荒廃を改めていく気概に燃えた人生を歩んでほしいと思います。明日からは一人ひとりの新しい歩みが始まります。今日の良き門出にあたり、皆さんの前途に幸多からんことを記念して、二つのことをお願いしたいと思います。

その一つは、「温かい思いやりの心を大切にし、豊かな人間性を備えた人になってほしい」と言うことです。人は一人では生きてはいけません。様々な人間関係の中で生きています。困難にぶつかった時、人と人とのネットワークの中で解決されることも多くあります。人への思いやりは、他の人を幸せにするだけでなく、自らも幸せにします。皆さんがこの鳥取中央育英高校で培った仲間との友情を一生の宝として、人間性豊かな人として成長して行って下さい。皆さんにはかけがえない仲間といつも皆さんのことを気にかけて、幸せを願っている人がいると言うことを忘れないで下

さい。

二つ目は、「チャレンジ精神をもって、最後まであきらめずに粘り抜く人になってほしい」と言うことです。人の一生は、航海やマラソンにたとえられるように決して平坦なものではありません。次々と苦悩が生まれ、挫折や失敗は避けては通れないものです。何度つまずいても、何度転んでも、どんな壁にぶつかってもその経験が自分を強くしてくれると信じて、前に進んで行って下さい。

「限界は他人に突きつけられるものではなく、自分の心の中にあるもの。自分があきらめない限り、限界はない。」このことを本校で過ごした三年間で学んだと確信しています。夢を実現できる人は、自分の中の不安を克服し、粘り強く挑戦し続ける人であることを心に刻んで、育英高生としてのプライドを持ち、夢に向かって一歩、一歩しっかりと歩いて行って下さい。夢は必ず実現します。皆さんの輝かしい未来を信じて式辞の結びとします。

令和二年三月二日

鳥取県立鳥取中央育英高等学校

校長 穴戸 靖雄